

学校だより

筥 松

1 1 月号

発行 平成21年11月10日 福岡市立筥松小学校 校長 有川 公一

はこまつ学習

本校教育の大きな柱と言ってもいいでしょう。この学習の取り組みの過程で、多くの地域の方々の支援をもらっております。そして、地域の方々とふれあいを通して、本校教育のスローガンでもあります『感動』と『感化』をいただいております。

5日（木）には、全ての学年ではこまつ学習の発表がなされました。

また、参観の前に、講堂においてはこまつ学習についての説明をいたしました。そこで、簡単に、1年生から6年生の取り組みの実際について、紹介いたします。

「1年生」は、校区内の保育園・幼稚園の園児と一緒に遊んだり、手作りおもちゃで友だちと遊んだりすることを通して、自分や友だちのがんばりや成長に気づいてきています。

「2年生」は、1学期、各自植木鉢でミニトマトを育て、学校の畑で友だちと一緒に、夏野菜（ナス・キュウリ・トマト・ピーマン）を育てました。水やりや草取り、芽摘み、追肥などの世話については、地域の梅津さんに教えていただきました。秋まき野菜づくりでは、自分たちの作りたい野菜を選び、種ものやさんへ種を買いに行き、種から育てていきました。野菜の生長に合わせた世話の仕方を通して、友だちと協力したり、梅津さんからいろいろ教えてもらったりする中で、自分の成長に気づくことができきています。

「3年生」は、筥松校区に「大きな道があり、車が多い。」という地域の特徴から、私たちの交通安全のために活動している「交通安全協会」の人たちに気づきました。そして、筥松の人や町のために活動している人たちが他にいないかを話し合い、「フラワー会」や「公民館」の人たち、「こぐまのへや」や「あいさつ運動」「子ども見守り隊」「ベルマーク」の人たちに気づいてきました。そして、これらの人たちを「筥松おうえん隊」と名付け、「どんな応援をしているのだろう。」というめあてを持って、その人たちの思いや願いを調べることを通して、自分たちにできることはないだろうかと考えています。



「4年生」は、筥松校区に昔から伝わる「人形飾り」を調べることを通して、関わっている人の思いや願いについて学習し、それを3年生や自分の家、地域の方に知らせていきます。

子どもたちは、初めに伴さんから、人形飾りのいわれについての詳しいお話を聞きました。そして、人形師の高野さんをはじめ地域の方々の応援をいただきながら、人形作り体験を行いました。残念なことに、7月の人形飾りには、インフルエンザの関係で参加することはできませんでしたが、人形飾りの責任者の吉村さん、実行委員の井上さん、水上さん、博多人形師の高野さん、家で人形飾りをしている一木さん、社会福祉協議会長鳥山さん、そしていろいろ資料をお貸しいただいた白石さんたちの支援のもと、この筥松に昔から伝わる伝統文化について自分たちで守っていききたいという気持ちが育ってきています。

「5年生」は、筥松の農業について学習しています。「知ってる？ほこまつのやさい」というめあてを持って、生産者の川嶋さん・販売者としての西鉄ストアの方・筥松の農業の歴史についてJAの方にインタビューをしながら、学習を進めてきました。

昨年、筥松に赴任して、筥松はかつて軟弱野菜の日本三大産地の一つであったことを知りびっくりしたことを覚えております。京都の「京菜」ということは聞いたことがありますが、かつては、「筥松菜」も有名だったのだろうなと思いました。

子どもたちは、学習を進めるなかで、筥松の農業の伝統は今も守られてきていること、そして野菜の国内生産の減少に少しでも歯止めがけられたこと、安心して安全な野菜を届けていることなどを通して、筥松の「まち」にたいして、さらに愛着を持つようになってきています。

「6年生」は筥松の「まち」についての学習の総仕上げとして、地域のひとの「筥松のまちづくり」の取り組みについて、多面的に学習していきます。

地域の人の思いや願い、その実現に向けて努力している姿を知り、自分も地域の一員であるという自覚を持って、「筥松のまちづくり」に参加できるように、「マイプラン」を考え、同じプランのグループの友だちと考えを深めながら、「まちづくり」に協力していく活動を行っています。

子どもたちは、地域の「まちづくり」の取り組みをしているフラワー会の児島さん、ゴミ減量の徳久さん、放置自転車の井上さん、交通安全協会の松本さん・本村さん、ふれあいロードの区役所の方、ペコリン運動の森さん、親水公園の伴さん、ふれあいサロンの中村さん、ハムエッグサロンの日比生さん、いこいの家の安部さん、こぐまの部屋の橋本さん・田中さん、その他たくさんの方々から直接お話を聞き、地域のひとが「安全・快適・人情味豊かなまちづくり」をめざしていることを知りました。そして、その



思いや願いを自分なりに受け止め、自分の立場でまちづくりに参加していこうとする「マイプラン」を作り、さらに、友だちといろいろ話し合いながら、それぞれのグループに分かれて実行しています。

子どもたちは、「マイプラン」を実行するために、朝、昼休み、放課後、土日などを利用して活動を行っています。

フラワー会グループでは、花壇の水やりをしています。ゴミ減量グループでは、リサイクルステーションのお手伝いをしています。放置自転車グループでは、自転車を放置しないよう呼びかけをしています。交通安全協会グループでは、朝の登校指導を行っています。ふれあいロードグループでは、ふれあいロードをきれいにする活動を行っています。ペコリン運動グループでは、登校してくる児童への元気なあいさつをしています。親水公園グループは、豪雨で流れてきた土砂を利用して、土嚢づくりを行いました。このことは、先日西日本新聞で紹介されました。ふれあいサロングループでは、健康に関する行事に参加しています。ハムエッグサロングループでは、小さい子どもたちへのお世話をしています。いこいの家グループも、小さい子どもたちへのお世話をしています。こぐまの部屋グループは、読み聞かせの活動を行っています。

子どもたちは、「マイプラン」に取り組んで行く中で、地域の方々とのふれあいを通して宮松のよさをしっかり感じてきています。

地域のたくさんの方々に、見守れながら育つ「はこまつっ子」は、たいへん幸せです。

暗唱のすすめ—読書の秋によせて—

『祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす。おごれる人も久しからず、唯春の夜の夢のごとし。たけき者も遂にはほろびぬ、偏に風の前の塵に同じ。<後略>』

(平家物語 巻第一、祇園精舎より)

平家物語のこの有名なくだり、いつ口ずさんでもいいものですね。

この平家物語との出会いは、確か6年生の担任の先生から教えてもらったと記憶しています。当時は、さっぱり意味がわからず、暗唱させられた思いが強かったのですが、高校の古文の学習で正式に習い、たいへん驚いたことを覚えています。それ以来、平家物語は、私の好きな文学のひとつになりました。

小さい時に、暗唱したことはなかなか忘れることはありません。たとえ、その当時、意味はわからなくて覚えたとしても。しかし、後になってその意味が理解できるようになると、自分の暗唱したことが、より鮮明に頭の中に入ってきます。勉学の中には、今ははっきりとした答えが出せないが、年を経るとともに、その答えがわかってくることが多くあります。

最近、教育の場で音読・朗読そして暗唱のすすめが、重要視されてきたのは、大変歓



迎したいと思います。

かつて、1年生を担当した時、クラスのほとんどの子どもたちが、国語の教科書の「たぬきの糸車」を暗唱して、目をくるくるしながら発表していたのが、なつかしく思い出されます。

以前赴任した学校でも、暗唱指導の参観の折に下記のような感想をいただき、うれしく思いました。紹介をします。

- 島崎藤村の『初恋』は、全部覚えていたなあ、昔は。と思いながら聞いていました。
- 暗唱の場面では、人の能力の無限さに改めて感心させられました。
- 暗唱は、とても懐かしく聞かせていただきました。本当にこの年頃に覚えたものは、頭に残っておりますが、私の年になると難しいです。

多感な時期の子どもたちに暗唱させたい詩のひとつあります。私の推薦する詩、それは、島崎藤村の「初恋」。

まだあげ初めし前髪を
林檎のもとに見えとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて
林檎をわれにあたへしは
薄紅の秋の実に
人こそ初めしはじめなり <後略>

<11月の行事予定>

13日(金)3年みそづくり

16日(月)~20日(金)

箱崎清松中ブロック読書週間

18日(水)指導法工夫改善研修会

市内のたくさんの方々が来校します。

19日(木)~20日(金)

6年修学旅行

(長崎・雲仙他)



21日(土)箱崎清松中10周年記念式典

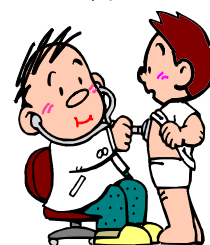
25日(水)防犯教室(1・3・5年)

中学校からの参観

26日(木)6年英語活動

音楽鑑賞会

27日(金)就学時健康診断



<12月の行事予定>—予定ですので変更もあります—

1日(火)放送朝会

2日(水)学習参観・懇談会

4年学習発表会

4日(金)東区音楽会

(4年出演)

10日(木)登校指導



22日(火)給食最終日・延長掃除

24日(木)2学期終業式



1月8日(金)3学期始業式